



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月14日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東
 コード番号 6199 URL <http://www.seraku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 龍己
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 小関 智春 (TEL) 03(3227)2321
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	10,160	19.7	1,091	178.5	1,283	84.7	855	86.7
2022年8月期第2四半期	8,485	16.7	391	△45.3	694	△37.5	457	△34.9

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 853百万円 (86.6%) 2022年8月期第2四半期 457百万円 (△34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	61.24	-
2022年8月期第2四半期	32.91	32.71

(注) 2023年8月期第2四半期（連結累計期間）の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	10,570	6,253	59.1
2022年8月期	9,620	5,519	57.3

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 6,249百万円 2022年8月期 5,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	-	0.00	-	8.60	8.60
2023年8月期	-	0.00	-	-	-
2023年8月期（予想）	-	-	-	8.60	8.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,700	15.9	1,420	60.2	1,600	11.6	1,040	7.6	74.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期2Q	13,988,400株	2022年8月期	13,954,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期2Q	130株	2022年8月期	130株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期2Q	13,966,034株	2022年8月期2Q	13,915,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束に向けての動きが加速する中で、国内の経済活動は一定の回復傾向にあるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に起因するエネルギーや原材料価格の高騰等によるインフレ懸念が高まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、AI、IoT等の先端技術の普及やクラウドシフトを背景にDX（デジタルトランスフォーメーション）に向けた取り組みが進んでおり、企業のIT投資需要は引き続き堅調に推移するものと見込まれます。最適なITインフラが企業の経営戦略を支える重要な役割を担っており、これら企業の需要に対応する質の高いITエンジニアの採用・育成の必要性が更に高まっております。

このような環境の下、当社グループでは良質なエンジニアの育成や社内エンジニアのDXシフト等によるサービスの価値向上に取り組むほか、ビジネスパートナーリソースの活用も含め、多種多様な顧客ニーズに応えられる体制作りを強化してまいりました。

これらの結果、当社グループの売上高は10,160,241千円（前年同期比19.7%増）、営業利益は1,091,223千円（前年同期比178.5%増）、経常利益は1,283,129千円（前年同期比84.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は855,227千円（前年同期比86.7%増）となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下のとおりであります。

① システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業においては、既存技術領域でのIT技術支援を推進し、長期安定的な分野であるITインフラ・クラウドテクノロジーや、デジタルクリエイティブ・WEB運営、システム開発などのサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き、「ITインフラの設計構築・運用」「システムの開発及び運用」等の成長領域におけるエンジニアの採用及び育成に取り組むほか、営業体制の拡充によってエンジニア稼働数の拡大と新規顧客開拓に注力いたしました。また、ビジネスパートナー各社との連携強化による外部リソース活用につきましては、引き続き積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当セグメントの売上高は7,203,923千円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益は588,509千円（前年同期比115.3%増）となりました。

② デジタルトランスフォーメーション事業

デジタルトランスフォーメーション事業においては、Salesforceの定着化支援を軸としたカスタマーサクセスソリューション事業のほかクラウドシステムの構築や運用、企業の情報資産を保護するサイバーセキュリティ等の先端技術を用いたサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間において、カスタマーサクセスソリューション事業では、新規顧客開拓に注力したほか、採用や社内エンジニアのDXシフトによるSalesforceエンジニアの育成・創出、MA（マーケティングオートメーション）ツールやBI（ビジネスインテリジェンス）ツールなどSalesforceと連携する複数の製品を扱える人材の育成に注力し、エンジニアの付加価値向上に努めました。クラウド&ソリューション事業においては、クラウド基盤への移行や24時間365日対応のマネージドサービスを中心に底堅いIT投資需要のもと、取引拡大に取り組みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,532,851千円（前年同期比34.0%増）、セグメント利益は479,726千円（前年同期比196.3%増）となりました。

③ みどりクラウド事業

みどりクラウド事業では、ITを用いて農業・畜産・水産のDX化を支援する「みどりクラウド」「ファームクラウド」などのプラットフォームサービス、一次産業をはじめとした各産業分野の個別課題を解決するソリューションサービスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続きソリューションサービスの受注拡大に注力するとともに、フードバリューチェーンにおけるDX化ソリューションの開発、提案に取り組んでまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は203,310千円（前年同期比20.1%増）、セグメント損失は7,737千円（前年同期はセグメント損失24,616千円）となりました。

④ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社セラクビジネスソリューションズでの3DCAD分野の技術、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術、通信建設及び情報通信に関する技術を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、CADエンジニアの採用・育成に注力いたしました。安定した稼働率や新しい技術領域での案件獲得が図られたことにより、売上は堅調に推移しております。引き続き各領域での案件獲得が期待され、教育によるエンジニアの付加価値向上や地理的展開を図り、企業規模を拡大させてまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は305,466千円（前年同期比11.6%増）、セグメント利益は32,029千円（前年同期はセグメント損失16,591千円）となりました。

⑤ その他事業

その他事業においては、連結子会社である株式会社セラクE C A（2022年8月26日に株式会社セラクC C Cに商号変更）での有料職業紹介・人材派遣・IT技術教育講座等のサービスを提供していましたが、Salesforce定着化支援を行っているカスタマーサクセスソリューション事業を分割し（決議日：2022年8月26日、効力発生日：2022年12月1日）、連結子会社である株式会社セラクC C Cに承継させることにいたしました。なお、2022年12月1日以降の株式会社セラクC C Cの損益につきましては、デジタルトランスフォーメーション事業のセグメントにて計上いたします。

これらの結果、当セグメントの売上高はありませんでした（前年同期はセグメント売上高なし）。セグメント損失は1,304千円（前年同期はセグメント損失2,123千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ950,565千円増加し10,570,993千円となりました。これは主に、現金及び預金が639,427千円、売掛金及び契約資産が159,233千円、保険積立金が82,650千円、流動資産「その他」が42,782千円、仕掛品が31,673千円、敷金及び保証金が22,974千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ215,937千円増加し4,317,213千円となりました。これは主に、未払法人税等が201,220千円、賞与引当金が84,140千円増加したものの、買掛金が37,169千円、未払消費税等が25,066千円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ734,627千円増加し6,253,780千円となりました。これは主に、利益剰余金が735,224千円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金という)の残高は、6,246,386千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、883,012千円(前年同期は107,269千円の収入)となりました。

主な要因は、法人税等の支払額218,299千円、売上債権の増加額159,233千円、前払費用の増加額38,069千円、仕入債務の減少額37,169千円、棚卸資産の増加額30,834千円、未払消費税等の減少額25,066千円等の資金の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益1,279,615千円、賞与引当金の増加額84,140千円等の資金の増加要因が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、125,680千円(前年同期は113,143千円の支出)となりました。

主な要因は、保険積立金の積立による支出82,650千円、敷金及び保証金の差入による支出26,878千円等の資金の減少要因が生じたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、119,105千円(前年同期は109,187千円の支出)となりました。

主な要因は、配当金の支払額119,534千円等の資金の減少要因が生じたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、2022年10月14日の「2022年8月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,658,860	6,298,287
売掛金及び契約資産	2,336,637	2,495,871
仕掛品	29,306	60,979
原材料	56,714	55,875
その他	180,212	222,995
貸倒引当金	△1,655	△1,049
流動資産合計	8,260,076	9,132,959
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	158,670	159,536
工具、器具及び備品(純額)	40,058	38,355
その他	8,590	7,168
有形固定資産合計	207,318	205,061
無形固定資産		
のれん	6,843	2,281
ソフトウェア	1,279	1,041
その他	1,662	1,662
無形固定資産合計	9,785	4,985
投資その他の資産		
投資有価証券	118,340	114,613
繰延税金資産	449,378	439,370
敷金及び保証金	241,783	264,757
保険積立金	292,290	374,941
その他	41,454	34,304
投資その他の資産合計	1,143,248	1,227,987
固定資産合計	1,360,352	1,438,033
資産合計	9,620,428	10,570,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,590	122,420
1年内返済予定の長期借入金	600,000	600,000
未払金	1,251,202	1,268,959
未払法人税等	244,557	445,778
未払消費税等	408,820	383,754
賞与引当金	912,916	997,057
受注損失引当金	896	725
その他	250,915	230,268
流動負債合計	3,828,899	4,048,963
固定負債		
長期借入金	150,000	150,000
退職給付に係る負債	113,074	110,066
その他	9,302	8,182
固定負債合計	272,376	268,249
負債合計	4,101,275	4,317,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	306,232	307,006
資本剰余金	503,982	504,756
利益剰余金	4,700,243	5,435,468
自己株式	△199	△199
株主資本合計	5,510,259	6,247,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	27
退職給付に係る調整累計額	3,908	1,954
その他の包括利益累計額合計	3,987	1,981
新株予約権	4,906	4,766
純資産合計	5,519,152	6,253,780
負債純資産合計	9,620,428	10,570,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	8,485,726	10,160,241
売上原価	6,594,887	7,513,181
売上総利益	1,890,838	2,647,060
販売費及び一般管理費	1,498,981	1,555,836
営業利益	391,856	1,091,223
営業外収益		
受取利息及び配当金	804	807
助成金収入	302,594	189,200
その他	1,327	3,359
営業外収益合計	304,725	193,367
営業外費用		
支払利息	1,817	1,461
営業外費用合計	1,817	1,461
経常利益	694,765	1,283,129
特別利益		
新株予約権戻入益	—	139
特別利益合計	—	139
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,653
特別損失合計	—	3,653
税金等調整前四半期純利益	694,765	1,279,615
法人税、住民税及び事業税	246,132	413,494
法人税等調整額	△9,357	10,893
法人税等合計	236,775	424,387
四半期純利益	457,989	855,227
親会社株主に帰属する四半期純利益	457,989	855,227

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	457,989	855,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△741	△51
退職給付に係る調整額	81	△1,954
その他の包括利益合計	△659	△2,005
四半期包括利益	457,330	853,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,330	853,222

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	694,765	1,279,615
減価償却費	21,528	18,683
のれん償却額	4,562	4,562
新株予約権戻入益	—	△139
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,653
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△741	△605
賞与引当金の増減額(△は減少)	60,057	84,140
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,744	△5,824
受取利息及び受取配当金	△804	△807
助成金収入	△302,594	△189,200
支払利息	1,817	1,461
売上債権の増減額(△は増加)	△241,783	△159,233
棚卸資産の増減額(△は増加)	16,872	△30,834
前払費用の増減額(△は増加)	13,481	△38,069
仕入債務の増減額(△は減少)	16,011	△37,169
未払金の増減額(△は減少)	△21,809	18,356
未払消費税等の増減額(△は減少)	△44,814	△25,066
その他	△42,649	△10,638
小計	172,155	912,884
利息及び配当金の受取額	686	689
利息の支払額	△1,815	△1,462
助成金の受取額	302,594	189,200
法人税等の支払額	△366,352	△218,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,269	883,012
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,200	△1,200
有形固定資産の取得による支出	△27,653	△16,188
無形固定資産の取得による支出	△602	—
保険積立金の積立による支出	△82,650	△82,650
敷金及び保証金の差入による支出	△1,875	△26,878
敷金及び保証金の回収による収入	838	1,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,143	△125,680
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△33,330	—
リース債務の返済による支出	△415	△353
配当金の支払額	△77,713	△119,534
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,271	1,548
その他	—	△766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,187	△119,105
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△115,062	638,226
現金及び現金同等物の期首残高	5,409,507	5,608,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,294,445	6,246,386

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	みどりクラ ウド	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,160,267	1,890,068	169,239	266,149	8,485,726	—	8,485,726	—	8,485,726
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	7,601	7,601	—	7,601	△7,601	—
計	6,160,267	1,890,068	169,239	273,751	8,493,327	—	8,493,327	△7,601	8,485,726
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	273,306	161,880	△24,615	△16,591	393,979	△2,123	391,856	—	391,856

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△7,601千円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	みどりクラ ウド	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,203,923	2,476,188	203,310	276,818	10,160,241	—	10,160,241	—	10,160,241
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	56,662	—	28,648	85,311	—	85,311	△85,311	—
計	7,203,923	2,532,851	203,310	305,466	10,245,552	—	10,245,552	△85,311	10,160,241
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	588,509	479,726	△7,737	32,029	1,092,528	△1,304	1,091,223	—	1,091,223

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△85,311千円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。